降誕前第8 主日/聖徒の日(永眠者祈念礼拝)

No. 44

主日礼拝

2025年11月02日午前10時30分

前奏 「主よ、ともに宿りませ」 (G.オールドロイド)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

ヤコブよ、あなたを創造された主は イスラエルよ、あなたを造られた主は 今、こう言われる。

恐れるな、わたしはあなたを贖う。

あなたはわたしのもの。

わたしはあなたの名を呼ぶ。

(イザヤ書 43:1)

頌栄 26「グロリア」



リタニー 「聖徒の日のリタニー」

司式者:神さまは、いのちをくださった。

みんな:神さま、いのちをありがとう。

司式者:いつか私たちは、

神さまのところに、帰っていきます。

みんな:どうぞ、神さま、お守りください。

司式者: 亡くなった人も、今、ここにいる私たちも

みんな:神さまに守られてひとつです。

司式者: 声をあわせて、賛美しましょう。

一緒に:神さま、あなたこそ、私たちのいのちです。

アーメン

賛美 13-3,6「みつかいとともに」



3 まことの神にて まことのひと、 あがないぬしなる 主をあがめよ。 かんむりをささげて 主とあがめよ。 6 世界を治むる イェスを仰ぎ、 たたえのうたもて 主をあがめよ。 かんむりをささげて 主とあがめよ。

祈祷

金塘

主の祈り

天にまします我らの父よ、 ねがわくは み名をあがめさせたまえ。 み国を来らせたまえ。 みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、 我らの罪をもゆるしたまえ。 我らをこころみにあわせず、 悪より救い出したまえ。 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの なればなり。 アーメン。

替業 39-5(2回)「ハレルヤ」



聖書 申命記 34:1~6 岡州 新規制 P338~P339 1 モーセはモアブの平野からネボ山、すなわちエリコの向かいにあるピスガの山頂に登った。主はモーセに、すべての土地が見渡せるようにされた。ギレアドからダンまで、2 ナフタリの全土、エフライムとマナセの領土、西の海に至るユダの全土、3 ネゲブおよびなつめやしの茂る町エリコの谷からツォアルまでである。4 主はモーセに言われた。

「これがあなたの子孫に与えるとわたしがアブラハム、イサク、ヤコブに誓った土地である。わたしはあなたがそれを自分の目で見るようにした。あなたはしかし、そこに渡って行くことはできない。」

5主の僕モーセは、主の命令によってモアブの地で死んだ。6主は、モーセをベト・ペオルの近くのモアブの地にある谷に葬られたが、今日に至るまで、だれも彼が葬られた場所を知らない。

賛美 518「主にありてぞ」



- 1 主にありてぞ われは生くる、 われ主に、主われに ありてやすし。
- 3 生くるも良し、死もまた良し、 主にある恵みに 変わりはなし。
- 2 主にありてぞ 死を迎えん、 主にある死こそは いのちなれば。
- 4 われ主にあり、主われにあり。 生くるも死ぬるも ただ主のため。

説教 「途上の死においても」

賛美 434「主よ、みもとに」



- 1 まよ、みもとに近づかん。 士字架の道 行くとも、 わが歌こそ、わが歌こそ、 「望よ、みもとに近づかん」。
- 2 さすらう間に らは暮れ 石にまくら するとも、 夢にもなお、夢にもなお、 主よ、みもとに近づかん。
- 3 天よりとどく かけはし、 われをまねく みつかい。 恵みうけて、恵かうけて、 宝よ、みもとに近づかん。
- 4 自覚めてのち、ベテルの 石を立てて 棒ぐる 裄りこそは、裄りこそは、 「主よ、みもとに近づかん」。
- 5 大瀬けゆく つばさを 等えらるる その詩 われら歌わん、われら歌わん、 「宝よ、みもとに近づかん」。

派遣

司式者 主は言われます。

「わたしは誰を遣わすべきか。」

会 衆 わたしがここにおります。 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏 「主よ、みもとに近づかん」 (S.カルクエラート)

> 司 式 光成 由樹 説 教 向井 希夫牧師 奏 楽 玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。 **※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。**